

令和4年9月26日

議決すべき計画に関する特別委員会

案件：四條畷市個別施設計画【公共施設】

目次

1. 本日の議論で確認したいこと……………P.1

2. 次回の特別委員会について……………P.6

《参考資料》……………P.8

- (1) 令和4年8月18日開催の特別委員会の確認事項
- (2) 資料請求一覧
- (3) その他資料請求等

1. 本日の議論で確認したいこと

本日の議論で確認したいこと

本日は、これまでの議論を踏まえて、次の事項の方向性と内容を確認し、Step① 四條畷南中学校跡地における(仮)防災機能の確保について、取りまとめたいと考えます。

■ 確認事項

- ① (仮)防災機能の整備に係る方向性
- ② (仮)防災機能の確保に係る計画改訂事項について

本日の議論で確認したいこと

①(仮)防災機能の整備に係る方向性

これまでに整理した資料請求の内容等を踏まえ、今後、令和5年度当初予算の内容を精査していくことから、四條畷南中学校跡地における(仮)防災機能の整備に係る方向性を確認いたします。

整備の方向性※	主な内容
A案	エレベーター及びスロープの整備を検討する。
B案	スロープを基軸として、2階への進入路の整備を検討する。
C案	2階への昇降は、エレベーターの使用を基軸に整備を検討する。
D案	他の避難所の環境と同水準になるように整備を検討する。

※『整備の方向性』の詳細は24ページを参照。

↓
・PCはクリック
・タブレットは長押し

[24ページに進む](#)

整備期間等	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14
実施設計含む場合	実施設計	工事期間								
実施設計を含まない場合	工事期間									
(参考)										
旧校舎の耐用年数(築60年)	築51年	築52年	築53年	築54年	築55年	築56年	築57年	築58年	築59年	築60年
四條畷南中学校跡地(体育館)	用途規制の緩和等		工事期間	供用開始						
四條畷東小学校跡地(体育館)				集約化						
青少年コミュニティー運動広場					機能移転					



※旧校舎は築50年を超えており、費用対効果が見込めないため、長寿命化改修は予定していません。

上記の『整備の方向性』と『整備の期間』を踏まえて、理事者で必要な整備内容を検討し、令和5年度当初予算案に調製した結果を反映してまいります。**理事者側の考え**としましては、**他の避難所の環境と同水準になるように整備を検討**していく**D案**と考えています。

本日の議論で確認したいこと

①(仮)防災機能の整備に係る方向性

令和2年1月に策定した四條畷市個別施設計画【公共施設】では、四條畷南中学校跡地への体育館の新築整備を起点に西部地域の公園整備を関連付けています。

凡例  整備工事の動き
 施設機能の動き

■ 四條畷南中学校跡地

②整備方針

方向性	<ul style="list-style-type: none"> J R片町線以東、国道163号以南の地域の防災機能を確保するため、当該跡地を活用し、避難所の確保を図る。 ボール遊びができる公園を整備する。
配置の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 既存校舎も含めた跡地の利活用については継続検討する。 体育館を新築整備し、当該跡地の体育館機能と四條畷東小学校の体育館機能を集約させる。

③更新等の時期

種名称	短期【前期】 (2019～2024)	短期【後期】 (2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
四條畷南中学校跡地	防災機能の確保 利活用の検討	検討結果を実施		

■ 四條畷東小学校跡地

②整備方針

方向性	2020年3月末をもって廃校とし、跡地をグラウンドとして整備する。
配置の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 2020年4月より四條畷小学校に統合する。 体育館は四條畷南中学校跡地へ集約化する。

③更新等の時期

種名称	短期【前期】 (2019～2024)	短期【後期】 (2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
普通特別 教室棟①-1・2・3	解体		転用(公園)	
普通教室棟②-1・2	解体		転用(公園)	
屋内運動場③	解体		転用(公園)	
プール付風車④	解体		転用(公園)	
プレハブ⑤	解体		転用(公園)	
倉庫⑥	解体		転用(公園)	
更衣室⑦	解体		転用(公園)	

↓統合
 ●四條畷小学校へ
 ●体育館は四條畷南中学校跡地へ

■ 青少年コミュニティー運動広場

②整備方針

方向性	球技を行う運動広場部分は四條畷東小学校跡地に移転させ、当該広場は公園として再整備する。
配置の考え方	公園として維持する。

③更新等の時期

種名称	短期【前期】 (2019～2024)	短期【後期】 (2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
青少年コミュニティー 運動広場			一部転用(公園)	

↓機能移転
 ●運動広場を四條畷東小学校跡地へ
 ※借地部分は返還

体育館を集約化(新築整備)

球技を行う運動広場を機能移転

本日の議論で確認したいこと

② (仮) 防災機能の確保に係る計画改訂事項について

P.3の議論を踏まえ、個別施設計画に(仮)防災機能の確保に係る記載事項を反映させ、計画の改訂事項として、議案を上程することから、計画の改訂事項について、再度、確認させていただきます。

資料再掲:令和4年7月19日開催の議決すべき計画に関する特別委員会 資料I P.6より

- 個別施設計画では、具体の整備内容にまで言及しておらず、整備方針や考え方を示したものです。
- 計画改訂にあたっては、1回目の改訂と2回目の改訂に係る記載するレベルを揃える必要があります。
- 1回目の改訂事項が、2回目の改訂事項の指標になると考えます
- 現計画の記載レベルで計画を改訂する場合は、以下の赤字の内容と考えます。

新					旧				
33.四條畷南中学校跡地					33.四條畷南中学校跡地				
②整備方針					②整備方針				
方向性	・JR片町線以東、国道163号以南の地域の防災機能を確保するため、当該跡地を活用し、避難所の確保を図る。 ・ 新たな避難所機能を有する施設を整備するまでの間、既存校舎において、避難所機能の充実を図る。 ・ボール遊びができる公園を整備する。				方向性	・JR片町線以東、国道163号以南の地域の防災機能を確保するため、当該跡地を活用し、避難所の確保を図る。 ・ボール遊びができる公園を整備する。			
配置の考え方	・既存校舎も含めた跡地の利活用については継続検討する。 ・体育館を新築整備し、当該跡地の体育館機能と四條畷東小学校の体育館機能を集約させる。				配置の考え方	・既存校舎も含めた跡地の利活用については継続検討する。 ・体育館を新築整備し、当該跡地の体育館機能と四條畷東小学校の体育館機能を集約させる。			
③更新等の時期					③更新等の時期				
棟名称	短期〔前期〕 (2019～2024)	短期〔後期〕 (2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)	棟名称	短期〔前期〕 (2019～2024)	短期〔後期〕 (2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
四條畷南中学校跡地	防災機能の確保 利活用の検討	検討結果を実施			四條畷南中学校跡地	防災機能の確保 利活用の検討	検討結果を実施		

2. 次回の特別委員会について

次回の特別委員会について

『本日の議論で確認したいこと』を踏まえて、今後のスケジュールを見直ししました。

Step① 四條畷南中学校跡地における(仮)防災機能の確保

調査研究の期間

No.	事項	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
1	特別委員会		■		■	■	■	■			■																							
2	議決														■																			
3	計画改訂														■																			

■ 変更事項

1. 特別委員会の期間を9月下旬まで延伸。
2. 議案の上程時期を10月臨時議会に設定しました。
3. 計画の改訂時期を10月臨時議会終了後に設定しました。

Step② 継続検討とした15施設の今後のあり方

No.	事項	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
1	特別委員会														■									■	■									
2	パブリックコメント																				■	■	■	■										
3	議決																								■									
4	計画改訂																											■						

次回の特別委員会では、Step② 継続検討とした15施設の今後のあり方の議論に向けて、資料を提出してまいります。

次回の特別委員会の開催日程

- 令和4年10月25日(火)
- ① 10月臨時議会を開催する場合は、臨時議会終了後から。
 - ② 10月臨時議会を開催しない場合は、10時から。

《参考資料》

- (1) 令和4年8月18日開催の特別委員会の確認事項
- (2) 資料請求一覧
- (3) その他資料請求等

(1) 令和4年8月18日開催の特別委員会の確認事項

(1) 今後のスケジュールについて

四條畷南中学校跡地における(仮)防災機能の確保に係る議決時期については、特別委員会の議論の進展状況により判断する。

(2) 委員長からの確認事項

委員長から確認事項として、これまでの議論を踏まえると、当該跡地の仮防災機能に係る整備については、一定の予算が必要となることから、仮防災機能の議論をこのまま進めていくかどうかの確認があった。

議論の結果、当初の予定とおり、仮防災機能を議論していくことを確認する。

(3) その他資料請求等

- ①鉄骨造でのスロープ設置の検討[長畑委員]
- ②エレベーターの電源確保(小型発電機)[柳生委員]
- ③エレベーターの電源確保(電源車)[島委員]
- ④出入口③から校舎までの舗装整備[大矢委員]
- ⑤出入口②のスロープ改修[大矢委員]

(2) 資料請求一覧

その他資料請求等(令和4年6月17日請求内容)

- ① 四條畷南中学校跡地校舎棟における避難所の使用可能面積及び収容人員 [瓜生委員]
- ② 四條畷南中学校跡地校舎棟の2階へ接続するスロープの設置費用(概算) [森本委員]
- ③ 四條畷南中学校跡地校舎棟を転用した場合の改修費用及び財源の内訳 [森本委員]
- ④ 公共施設再編検討会報告書の提言内容をもとにした公共施設再編案及び将来更新費用 [渡辺委員]

その他資料請求等(令和4年7月19日請求内容)

- ① 2階職員室へのスロープの設置に係る検討について [長畑委員]
- ② オーバーブリッジの老朽化の状況について [大矢委員]
- ③ エレベーターの停電対策について(自家発電設置・電気自動車の活用) [長畑委員、森本委員]
- ④ エレベーターへの浸水対策について [森本委員]
- ⑤ 長寿命化改修に係る単価について [渡辺委員]
- ⑥ 避難所の出入口に係る考え方について [瓜生委員・大矢委員]
- ⑦ 災害対策給水栓の移設(土砂災害警戒区域外への設置)について [島委員]

その他資料請求等(令和4年8月18日請求内容)

- ① 鉄骨造でのスロープ設置の検討 [長畑委員]
- ② エレベーターの電源確保(小型発電機) [柳生委員]
- ③ エレベーターの電源確保(電源車) [島委員]
- ④ 出入口③から校舎までの舗装整備 [大矢委員]
- ⑤ 出入口②のスロープ改修 [大矢委員]

(3) その他資料請求等

- 令和4年8月18日開催の特別委員会で資料請求のありました①から⑤について、整理を行いました。
 - P.12 ①鉄骨造でのスロープ設置の検討[長畑委員]
 - P.13 ②エレベーターの電源確保(小型発電機)[柳生議員]
 - P.14 ③エレベーターの電源確保(電源車)[島委員]
 - P.15 ④出入口③から校舎までの舗装整備[大矢委員]
 - P.16 ⑤出入口②のスロープ改修[大矢委員]

- 『1. 本日の議論で確認したいこと』を議論するにあたり、参考情報として概算費用等を整理しました。
 - P.17 (参考) 小型発電機
 - P.18 (参考) 階段昇降車
 - P.19 (参考) 階段昇降機
 - P.20 (参考) 停電時の電源系統整備
 - P.21 (参考) コンクリートの打設
 - P.22 (参考) 止水板の整備
 - P.23 (参考) 備品・什器の処分
 - P.24 (参考) 空調の整備・更新
 - P.25 (参考) (仮)防災機能の整備に係る概算費用一覧

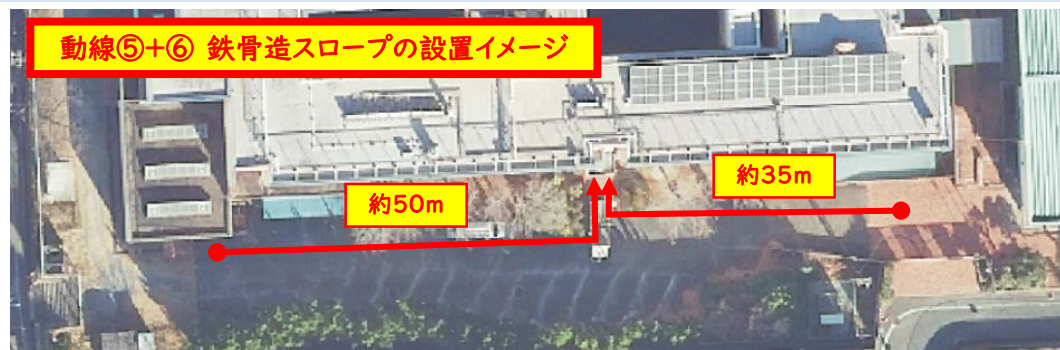
①鉄骨造でのスロープ設置の検討[長畑委員]

スロープ(鉄骨造)の整備費用を検討するにあたり、想定される工事内容をもとに1mあたりのスロープ設置単価を算出し、概算工事費を算出しました。

■ 概算費用の算出②

- ・四條畷南中学校跡地整備に係る検討支援業務の受託者の協力を得て、概算費用を算出しました。
- ・受託者の想定による工事内容をもとに㎡単価を算出し、想定延長を乗じて、概算費用を算出しています。
- ・校舎棟2階の開口部に施工費用は概算費用に含まれていないため、別途、費用が必要となります。

■ スロープ(鉄骨造)1mあたり概算工事費(直接工事費)



(間接費) =直接工事費×20%	(工事価格) =直接工事費+間接費	(合計) =工事価格+消費税
単価(円/m)	単価(円/m)	単価(円/m)
49,144	294,866	330,000

※一万円未満を切り上げ

■ スロープ(鉄骨造)の概算工事費

単価(円/m)	×	延長(m)	=	概算費用(円)
約330,000		約85		約28,000,000

(注) 概算費用は、四條畷南中学校跡地整備に係る検討支援業務の受託者(以下、『受託者』という。)が、これまでの知見等に基づき簡便な方法で算出した参考金額であり、詳細設計をもとに算出していないため、精緻な金額ではありません。

②エレベーターの電源確保(小型発電機)[柳生議員]

柳生委員からご意見をいただきましたエレベーターの電源確保に係る小型発電機について、整理しました。

■参考品

出典:デンヨー株式会社 カタログより



小型発電機の概算費用 約90万円

※ただし、小型発電機から昇降機までの電気配線工事が必要であり、概算費用に電気配線工事は含まれていません。

※停電時に使用する場合は、電源システムを手動により切り替えを行う必要があります。

項目	型式	防音型 / ガソリンエンジン発電機<インバータ>		パイプフレーム型 / ガソリンエンジン発電機<スタンダード>		
		GE-5500SS-IV		GE-6005TP	GE-6006TP	
				50Hz機	60Hz機	
発電機						
周波数	Hz	50/60(ワンタッチ切替)		50	60	
三相	出力	kVA	-	5.0	6.0	
	電圧	V	-	200		
	電流	A	-	14.4	17.3	
	コンセント×個数	-	-	14.4×1	17.3×1	
単相	出力	kVA	5.5	1.5		
	電圧	V	100	200	100	
	電流	A	55.0	27.5	15	
	コンセント×個数	15A×2+30A(100V専用)×1,30A(100/200V)×1	15A×2			
励磁方式		永久磁石方式		2極回転界磁形		
力率		1.0		単相 1.0 三相 0.8(遅れ)		
ガソリンエンジン						
名称		ヤマハ MZ360V-60i		ヤマハ MZ360		
形式		空冷4サイクル OHV				
総排気量	mL	357		358		
始動方式		セルモータ式		セル式リコイル付		
燃料		無鉛レギュラーガソリン				
燃料タンク	L	17		24		
連続運転時間	1/4負荷時	h		13.3 ^{*1}	21 ^{*1}	
	定格負荷時	h		5.0	9.0	
寸法・質量						
全長×全幅×全高	mm	780×616×692		670×535×565		
乾燥質量	kg	97		95		
騒音値						
音圧レベル	1/4負荷時	7mB(A)		58 ^{*1}	-	
	定格負荷時	7mB(A)		64	71	
音響パワーレベル	LwA dB ^{*2}	93 ^{*2}		92 ^{*2}	96 ^{*2}	

騒音値: ●...超低騒音型指定機 ○...低騒音型指定機 *1...エコノミーコントロールON時 *2...音響パワーレベル無負荷定格回転時

■エレベーターの稼働に必要な電源

項目	出力(KVA)	電圧(V)
動力用	4.0	200
照明用	1.5	100

(参考)

四條畷南中学校跡地には、**避難者用の小型発電機を1台配備**していますが、避難者用のため、停電時のエレベーターの電源には使用することができません。



③エレベーターの電源確保(電源車)[島委員]

島委員からご意見をいただきましたエレベーターの電源確保に係る電源車について、整理しました。

■参考品

低電圧移動電源車

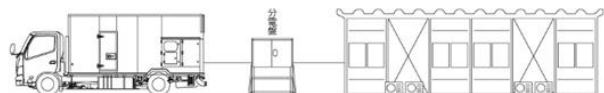
75 KVA 100 KVA 150 KVA

210V出力の低圧タイプ。

*他容量についてはご相談ください。



運用事例：緊急時の仮設電源として



仕様

		KMP-075L	KMP-100L	KMP-150L
発電機部	容量 [kVA]	75	100	150
	電圧 [V]	210		
	周波数 [Hz]	50/60		
原動機部	力率	0.8 (遅れ)		
	種類	ディーゼルエンジン		
	油種	軽油		
	燃料消費量 [ℓ/h]	16.7/17.7	22/28	35
	連続運転可能時間 [h] ※1	8.5 (250)	5.3 (250)	3.0 (120)
車両部	騒音 [dB]	75		
	全長 [mm]	5620	6145	6290
	全幅 [mm]	2020	2175	2180
	全高 [mm]	2500	2785	2680
	総重量 [kg]	8000未満		
車種	キャブオーバーバー型中型トラック			

※1 上段：燃料タンク満杯の場合/下段：燃料を給油し続けた場合

概算費用：約3,500万円

高電圧移動電源車

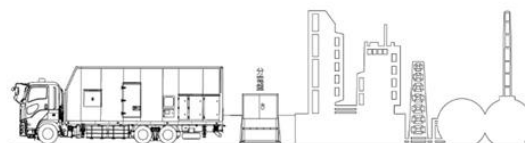
300 KVA 500 KVA 1000 KVA

6600V出力の高圧タイプ。

*他容量についてはご相談ください。



運用事例：停電発生時の工場/オフィス電源確保のために



仕様

		KMP-300H	KMP-500H	KMP-1000H
発電機部	容量 [kVA]	250/300	500	1000
	電圧 [V]	6600		
	周波数 [Hz]	50/60		
原動機部	力率	0.8 (遅れ)		
	種類	ディーゼルエンジン		
	油種	軽油		
	燃料消費量 [ℓ/h]	55/70	107/114	209/217
	連続運転可能時間 [h] ※1	3.0/3.8 (200)	2.3/2.1 (200)	2.8 (150)
車両部	騒音 [dB]	75	80	
	全長 [mm]	7000	7000	9950
	全幅 [mm]	2200	2200	2500
	全高 [mm]	3045	3300	3700
	総重量 [kg]	8000未満		20000未満
車種	キャブオーバーバー型中型トラック		キャブオーバーバー型大型トラック	

※1 上段：燃料タンク満杯の場合/下段：燃料を給油し続けた場合

概算費用：約6,500万円

(補足)

- 概算費用は、標準的な車両価格であり、仕様の内容により、価格は変動します。
- 車両の調達期間として、発注後、約15ヶ月程度の期間が必要です。
- 電源車は、移動用電気工作物となるため、電気事業法、電気工事士法、電気工事業法、労働安全衛生法の規定に基づく諸手続き等が必要です。
- 上記に関連する費用のほか、電源車から昇降機までの電気配線工事に係る費用等は、概算費用に含まれていないため、別途、費用が必要です。

④ 出入口③から校舎までの舗装整備[大矢委員]

大矢委員からご意見をいただきました出入口③から校舎までの動線を舗装整備した場合の概算費用を試算しました。



(注) 総延長、平均幅員、整備面積の値は、地図情報システム等で計測した値をもとに算出した参考値であり、施工の際の値とは異なります。

⑤ 出入口②のスロープ改修 [大矢委員]

大矢委員からご意見をいただきました出入口②のスロープ改修について、概算費用を試算しました。



(注) スロープの延長を確認するために、平面図(航空写真)を用いて整理した資料です。

(参考) 階段昇降車

くすのき小学校では、平成24年度にエレベーター棟を新築するまでの間、階段の昇降対策として、階段昇降車を利用していました。

概算費用

約200万円

■ 参考品 (株)サンワ ステアシップ TRE-52

BARRIER FREE 福祉用 バッテリー式電動階段昇降車

STAIR SHIP TRE-52

電動/手動車いす兼用 階段昇降車

- 装着できる車いすの範囲が広いフロアタイプ
- 可搬型は工事不要

最大 200kg 荷重



学校... 公共施設等に...

夢のあるユニークなアイデア製品を創り出す 株式会社サンワ

STAIR SHIP (TRE-52)

平地は手押し 階段はバッテリー駆動です!

安全性

- 特殊設計のゴムローラーが階段段鼻を確実にグリップしますので滑り下る心配はありません。
- 電磁ブレーキの働きで階段途中でも安全に停止できますので周りの状況に対応できます。
- 万一の場合は非常停止ボタンにより緊急停止することができます。

操作性

- 階段昇降時はフロアが水平に近い状態に保たれます。
- パッテリーは排水・炭モレのないメンブランスフリーバッテリーを搭載しています。
- 充電は100V電源で、満充電になれば自動的に電源をカットします。

仕様

名称	ステアシップ
型式	TRE-52
全長	1,258mm
全幅	757mm
全高	1,290mm
フロア高さ	235mm
フロア傾斜角	約4.0°
スロープ角度	11°
制動装置	制動付電動ブレーキ
階段昇降時	約21秒(荷重5.5kg)
階段降時	約32秒(荷重5.5kg)
階段最大角度	35°
駆動方式	3.6Vニッケル水素電池
定格出力	210W(30分×2回)
バッテリー型式	小型シール鉛蓄電池
バッテリー容量	24V・24Ah(20hr)
充電時間(常温)	約4.0分
前輪	φ125mm×1個
後輪	φ150mm×2個
ホイールベース	500mm
トレッド	φ88mm
幅	φ11mm×2本
接地長	900mm
トレッド	φ24mm
総重量	115kg
最大積載量	200kg(11名)

株式会社サンワ

U R L http://www.sunwa-jp.co.jp
E-mail khangyo@sunwa-jp.co.jp

本社 東京都 品川区 東横田 5-1-1 TEL.04-2954-6611 FAX.04-2954-6617
西日本 東京都 品川区 東横田 2-106 TEL.079-251-1005 FAX.079-231-1006
工場 静岡県 浜松市 東区 東山 1-1-1
支店 東京都 品川区 東横田 5-1-1

2017.9.2000P



(参考) 階段昇降機

階段昇降車以外にも階段昇降機という製品もありますので、参考資料として整理しました。

■ 参考品

車椅子用



概算費用

約800万円以上

(補足)

- 機種やレール長さや形状、設置環境等により、価格は変動します。
- 電源: 単相100Vまたは200V バッテリー充電式

参考品: 新光産業(株) シンフォニーEA-6 (屋内外・曲線階段)

椅子用



概算費用

約170万円以上

(補足)

- 機種やレール長さや形状、設置環境等により、価格は変動します。
- 電源: AC100V DC24Vバッテリー

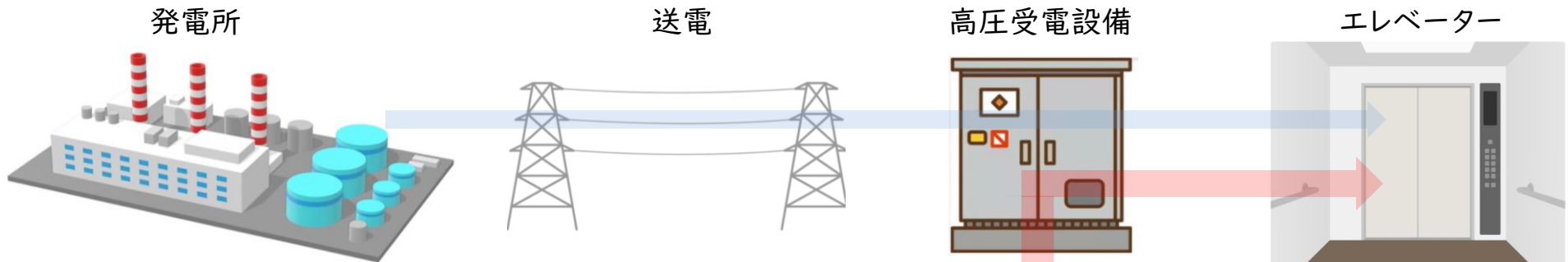
参考品: 新光産業(株) シュプールX (屋内・曲線階段)

(参考) 停電時の電源系統整備

発電設備で発電した電力をエレベーターへ供給するには、非常用の電源系統を整備する必要がありますため、概算費用を整理しました。

概算費用: 約200万円

■ 一般的な高圧電力の供給



■ 停電時の電力供給

停電時の電源系統整備

発電設備



(注) 概算費用は、受託者がこれまでの知見等に基づき簡便な方法で算出した参考金額であり、詳細設計をもとに算出していません。

(参考)コンクリートの打設

校舎棟1階東側出入口をコンクリートで閉塞する場合の概算費用を整理しました。

概算費用:約120万円

■ 概算費用の算出

- ・1階東側開口部をコンクリートで打設し、コンクリート壁を整備する内容の概算費用。
- ・延長:10m、高さ:2.7m、厚み:0.45mを施工範囲として概算費用を算出しています。

工事イメージ

■ 施工前



■ 施工後



(参考) 止水板の整備

止水板の整備に係る概算費用を整理しました。

■参考品 中部美化企業(株) ウォーターシャッター

ウォーターシャッターは、中空構造のアルミパネルを採用し、非常にシンプルで1枚の高さが約160mm、**重量は1m当たり2.9kgと軽量**、どなたでも迅速・簡単に移動・設置することができます。



どなたでも持ち運べる軽さ！



止水板（パネル部）を水平方向にワンタッチでロックする新機構により、設置時間が従来品よりさらに短縮！



設置時間は一人で約10分程度
（高さ約50cm、幅約5mの開口部にウォーターシャッターを取り付ける場合）

(価格例)

間口 (開口部の幅)	止水板 (パネル) 全体高さ	パネル 段数	ウォーターシャッター 価格 (製品価格)
1,000mm	490mm	3段	¥843,000
2,000mm	490mm	3段	¥1,142,000
5,000mm	980mm	6段	¥3,087,000
2,000mm	1960mm	12段	¥2,776,000
5,000mm	1960mm	12段	¥6,028,000

- 搬入費・施工費は別途で地域・施工条件により異なります。
- 同じ高さ幅でも、設置条件によっては追加の部材が必要になる場合があります。
- 建築付帯工事は別途となります。
- 木造戸建住宅など建物によっては対応できない場合があります。

$$\begin{matrix} \times & \boxed{2} & + & \boxed{\text{搬入費・施工費}} & \div & \boxed{\text{約700万円}} \end{matrix}$$

(概算費用)

(延長≒10m相当)

(参考) 備品・什器の処分

避難所面積(最大)に要する備品・什器等の処分費について、四條畷南中学校跡地整備に係る検討支援業務の受託者がこれまでに実施した同種・同類の業務を参考に、概算費用を算出しました。

概算費用:約500万円

■ 概算費用の算出

- ・避難場所となる普通教室、特別教室の黒板及びロッカーの撤去・処分
- ・避難場所(青色)となる普通教室の椅子及び机の撤去・処分
なお、1教室あたり机40台、椅子40脚とする。
- ・避難場所となる特別教室の備品等の撤去・処分については、教室の用途により条件が異なる為、最も費用が高いと考えられる理科室の撤去・処分費を参考金額として、特別教室数を乗じる。



普通教室



特別教室



スペースの確保

(注) 概算費用は、受託者が、これまでの知見等に基づき簡便な方法で算出した参考金額であり、詳細設計をもとに算出していないため、精緻な金額ではありません。

(参考) 空調の整備・更新

避難所面積(最大)を前提として、直近の空調工事における価格をもとに、空調の新設と既存空調の更新を概算費用として整理しました。

概算費用:約8,500万円

■ 概算費用の算出

- ・避難場所となる普通教室等の空調未設置箇所への設置
- ・避難場所となる普通教室等に設置している既存空調の更新
- ・直近の空調工事の価格を参考金額として試算

■ 対象教室

合計 41教室

階層	諸室名	空調	床面積	避難所		
				赤色	青色	黄色
1階	技術室①		110			
	相談室	●	32			32
	図書室	●	96			
	更衣室	●	32		32	
	放送室	●	32		32	
	支援教室①	●	64			
	PTA会議室		64			
	準備室①		32			
	理科室①		98			
	理科室②		98			
	準備室②		32			
	理科室③		98			
	事務室	●	32			
	保健室	●	66			
	支援教室②	●	63			63
	支援教室③		63			
	校務員室		23			
	配膳室	●	55			55
	技術室②		110			
	研究室		32			
	小計		1,232	0	64	150
					64	150

1階小計:2教室

階層	諸室名	空調	床面積	避難所		
				赤色	青色	黄色
2階	仮縫室		16			
	家庭科室①		96			96
	更衣室		32	32		
	教務室		32	32		
	普通教室①	●	66	66		
	更衣室学習室	●	64	64		
	普通教室②	●	64	64		
	生徒指導室		66		66	
	生徒会室	●	66	66		
	職員室・印刷室	●	222			222
	家庭科室②		94			94
	準備室		32			32
	普通教室③	●	66	66		
	配膳室		12			
	資料室		12			
	小計		940	390	66	444
					456	444

2階小計:8教室

階層	諸室名	空調	床面積	避難所		
				赤色	青色	黄色
3階	視覚室	●	127		127	
	倉庫		62		62	
	少人数教室①	●	66	66		
	英語研究室		32			
	少人数教室②	●	66	66		
	普通教室①	●	64	64		
	普通教室②	●	64	64		
	準備室①		32		32	
	美術室①		98		98	
	美術室②		98		98	
	通級指導教室	●	64	64		
	クラブ室		96		96	
	準備室②		28		28	
	少人数教室③	●	66	66		
	コンピューター教室	●	96		96	
	準備室③	●	32		32	
	数学研究室		32		32	
	カウンセリングルーム		32		32	
	配膳室		12			
	資料室		12			
	小計		1,179	390	733	0
					1,123	0

3階小計:17教室

階層	諸室名	空調	床面積	避難所		
				赤色	青色	黄色
4階	少人数教室①	●	62	62		
	普通教室①	●	66	66		
	国語研究室		32		32	
	少人数教室②	●	66	66		
	普通教室②	●	64	64		
	普通教室③	●	64	64		
	アンサンブルルーム		32			
	音楽室①	●	98	98		
	アンサンブルルーム		24			
	倉庫①		24			
	音楽室②	●	98	98		
	倉庫②		64	64		
	社会科教室		96		96	
	研究室		28			
	少人数教室③	●	66	66		
	通級指導教室	●	64	64		
	クラブ室①		64		64	
	クラブ室②		64		64	
	配膳室		12			
	資料室		12			
	小計		1,100	356	612	0
					968	0

4階小計:14教室

(注) 機器はGHPを前提に試算しています。市庁舎に設置しているGHPとは異なり、停電時は使用することができません。また、GHPに発電機能はありません。

(参考) (仮) 防災機能の整備に係る概算費用一覧

(仮) 防災機能の整備に係るこれまでのご意見をもとに、類型別に概算費用を整理しました。

凡例 ●:各案における整備内容の検討範囲を示す。 ▲:現場調査の状況等により必要最低限の整備内容となる。
 ★:実施設計を要することが見込まれる整備内容を示す。※ただし、整備内容の詳細検討により、整備範囲や規模等を縮小した場合は、実施設計を行わない場合があります。

[3ページに戻る](#)

類型	No.	整備の方向性				整備内容	概算費用	備考
		A	B	C	D			
動線 (平面)	1	●	●			★スロープ改修	約2,000万円以上	動線①～④に係る概算費用
	2	●	●			★スロープ(鉄骨造)設置	約2,800万円	動線⑤+⑥(鉄骨造)の概算費用
	3	●	●		●	スロープ改修	約500万円	出入口②のスロープ改修に係る概算費用
	4	●		●		舗装整備	約1,300万円	出入口③から出入口(F)までの概算費用
動線 (昇降)	5	●		●	●	エレベーターの復帰	約620万円	エレベーターの復帰検査の費用+10年間の保守費用※追加修繕の費用は含まない。
	6	●		●		★自家発電設備	約2,500万円	市庁舎東別館の自家発電設備の更新に係る概算費用
	7	●		●		小型発電機	約90万円	参考品に係る概算金額
	8	●		●		停電時の電源系統整備	約200万円	発電設備からエレベーターまでの電源系統の整備費用。
	9	●		●		★電源車	約3,500万円以上	参考品に係る概算費用
	10	●	●	●	●	階段昇降車(機)	約170万円以上	参考品に係る概算費用(階段昇降車、階段昇降機(車椅子用、椅子用))
浸水 対策	11	●		●		コンクリート打設	約120万円	出入口の閉塞に係る概算費用
	12	●		●		止水板の整備	約700万円	参考品に係る概算費用
	13	●		●	●	土嚢の設置	約一円	概算金額が少額の見込みのため、費用の詳細は算出していません。
その他 整備	14	●	●	●		給水栓の移設	約200万円以上	移設に係る概算費用
	15	●	●	●	●	備品・什器処分	約500万円	避難所面積(最大)に要する処分費の概算費用
	16	▲		▲	▲	★空調の整備・更新	約8,500万円	避難所面積(最大)を前提とした概算費用

(注1) 概算費用は、参考価格等をもとに粗い試算により算出したものであり、精緻な金額ではありません。また、試算の前提条件を変えると金額が変動しますので、ご留意願います。

(注2) 各案で示している整備の方向性をもとに、理事者側で整備内容の組み合わせ等を検討したうえで、予算案を調製します。